

# 未来へ届ける中学生の声

## —わたしたちのまちをもっと良くするために—

7月30日、市議会議場で令和8年中学生議会が開催され、市内の中学生が市政への提案を行いました。

この取り組みは、子どもたちに議会のしくみや市政への理解を深めてもらい、若い世代ならではの視点や発想を市政に生かすことを目的に毎年開催しています。

今年も、中学生たちは、これまでの学習や日頃の経験

をもとに地域の課題を調査・研究し、中学生議会に臨みました。

当日は、各学校が選んだテーマについて中学生が質問し、市執行部が答弁を行うなど、市議会と同様に厳粛な雰囲気の中、議論が交わされていました。

### 水海道中学校



### アクティビティを用いた防災学習について

市の水害経験を風化させないため、中学生や外国籍住民を含む地域住民が共に防災を学ぶ機会を設け、学校や公共施設でアクティビティを取り入れた防災学習を実施できないか、見解を伺う。

答弁 市長公室長

地域住民の交流を深めることは、実際の避難時では重要になると考えている。既存の「マイ・タイムライン」や防災スポーツ、外国籍住民向け防災啓発事業を踏まえ、中学生と住民が参加・交流できる防災学習を企画していきたい。

### 空き店舗を活用した世代間交流の場づくりについて

商店街の空き店舗などを活用した中高生と地域住民が交流できる場づくりを提案する。市の空き店舗などの活用と、交流機会の創出に対する考え方について伺う。

答弁 都市建設部長

地域の方々との話し合い、空き店舗などの所有者の意向を尊重しながら、公共施設の空きスペースの活用も含め、交流機会の創出の実現に向け取り組んでいきたい。

### 石下中学校



### 中学生たちが活躍する姿を！

中学生議会は、インターネットで録画を視聴することができます。中学生たちの想いや一般質問・答弁の様子を、ぜひご覧ください。



インターネット  
議会中継



当日の写真は  
こちらから

## デジタル交通安全マップの作成について

中学生や地域住民に向け、通学路の危険箇所や安全な通行方法をわかりやすく伝えるため、市独自のデジタル交通安全マップの作成など、マップを活用した交通安全対策を実施できないか、市の見解を伺う。

答弁 市長公室長

「異常通報システム」や「グーグルマップを活用した消防マップ」などの既存ツールを活用し、デジタルマップを作成していきたい。また、通学路の危険箇所については、教育委員会と連携して引き続き公開し、中学生の皆さんにも情報提供をお願いしたい。

## 石下西中学校



## 水海道西中学校



## 地域イベントへの「中学生ボランティア枠」の設置について

市や地域が主催するイベントで、中学生が個人でも参加できる「中学生ボランティア枠」を設け、安全に主体的に活躍できる役割を設置できないか、市の見解を伺う。

答弁 教育部長

中学生が運営に携われる市のイベントは多く、参加によって、世代を超えた交流や地域への愛着につながると考える。今後は関係団体と連携し、参加しやすいボランティア機会の創出と情報発信に努めていきたい。

## 資源物の分別やリサイクルの推進について

市の一般廃棄物処理基本計画では、ごみの排出抑制や資源化率の向上が課題となっている。アルミ缶などの資源物の分別・リサイクルをさらに進めるため、今後どのような周知・啓発に取り組むのか伺う。

答弁 産業振興部長

家庭ごみ分別手引き書の配布や広報紙での周知・啓発、小学生への環境学習やイベントでのエコステーション設置を通じ、資源物の分別・リサイクルへの理解を広めている。今後も分かりやすい情報発信に努めていきたい。

## 水海道第一高等学校 附属中学校



## 提案がカタチに！ 中学生と協力して実現につなげる取り組みも進めています。

令和7年中学生議会で、石下中学校から「公共機関等を活用した地域活性化に向けたPR～中学生がデザインでつなぐ、わたしたちのまち～」をテーマとした提案がありました。

この提案をきっかけに、市と石下中学校によるプロジェクトが始動。石下中学校や地域交流センターを舞台に撮影を行い、中学生が動画の企画・脚本・撮影・出演を担当し、市が編集を行ってPR動画を完成させました。



完成したPR動画はコチラから▶

